

遼寧省盤錦市について

こんにちは！中国遼寧省盤錦市外事弁公室から来ました友好交流職員 呂操（ろそう）と申します。

2016年6月13日に日本に来て、一ヶ月以上が経ちました。今度の友好交流の機会をお借りして、遼寧省盤錦市（りょうねいしょう ばんきんし）のことを紹介したいと思います。

盤錦市は、中国遼寧省南西部にあって、遼寧省が管轄している14市の一つの市です。面積は遼寧省の面積約2.75%を占め、4,084平方キロメートル、人口は140万人です。東と北東は鞍山市と隣接しており、南東は遼河を隔てて営口市を臨み、南は渤海の遼東湾に面し、西と北西は錦州市と隣接しています。また、ここは遼寧省経済圏と北京、天津、唐山などの都会集約区との接続地帯で、東北アジア経済圏と環渤海経済圏の合流点に位置します。



盤錦市は遼寧省の瀋陽空港まで車で1時間30分、高速電車で1時間、大連空港まで車で2時間30分、高速電車で1時間27分です。また貨物取扱いが一億トンの港があります。現在、東北地方と内モンゴル地区に最も近い港となります。

盤錦市は温帯大陸性気候に属しています。四季が明確で、夏は雨が多く、冬は乾燥しています。夏は一番暑い時期の平均気温は24.3℃、最高気温は35℃くらいですが、冬になると平均気温はマイナス7.6℃、最低気温はマイナス29.3℃にも達します。

盤錦市は従来「石油の城」、「湿地の都」および「米と魚の郷」という名で知られています。中国三番目の遼河油田がここにあり、調査した結果石油の埋蔵量が48.5億トン、天然ガスの埋蔵量が1,978億立方メートルでした。世界でも珍しい湿地、そして中国で一番美しい湿地はここにあり、湿地の面積は3,150平方キロメートル、紅海灘は、真っ赤な植物がたくさん生えていて赤い海のように見え、とても綺麗です。さらに世界一の葦の畑がここに 있습니다。面積は8億平方メートル、葦の年間生産量が50万トンです。盤錦市は中国最大の河蟹の養殖地でハマグリ、クラゲの産出地ともなっています。盤錦市のお米「盤錦米」は全国でも有名で、優れた品質の稲の年間生産量は約100万トンです。盤錦市には地下温泉や湿地帯の観光資源などが豊富で極めて開発価値の高い都市です。盤錦市も「タンチョウヅルの故郷」「ズグロカモメの故郷」と呼ばれており、貴重な野鳥は257種類生息しています。



(盤錦市遼河油田の石油ポンプの写真)



(盤錦市紅海灘の写真)



(盤錦市紅海灘の写真)



(盤錦市の葦の畑の写真)



(盘锦市河蟹の写真)



(盘锦市のズグロカモメとタンチョウヅルの写真)

盤錦市は、豊富な自然資源を頼りに、石油と天然ガスの採掘を主産業とし、石油化学工業と合成樹脂および化学肥料などを主とする工業システムが形成されています。わが国最大の重油の生産地です。最大のハイレベル道路用アスファルトの生産地と防水材料の生産地でもあります。設備製造業、プラスチック樹脂、有機食品製造業、サービス業などの産業基盤があります。

盤錦市は、毎年いくつかのイベントを開催しています。中国盤錦市湿地観光ウィーク、中国盤錦国際石油装備技術博覧会、盤錦河蟹祭り、盤錦ビール祭り、盤錦かかし祭り、盤錦凧祭り、紅海灘国際マラソン、自転車レース、競歩レース、田植え祭りなどいろいろな祭りがあります。



(盤錦市かかし祭りの写真)



(盘锦市紅海灘國際マラソンの写真)



(盘锦市紅海灘國際マラソンの写真)

盤錦市は、日本の都市の中では唯一富山県の砺波市と友好都市を締結していますが、私は友好交流の機会を通して、もっと日本の様々な分野、特に神奈川県のことを学び、神奈川県と友好都市を締結するという希望があります。これから両地域のいろいろな友好交流活動に役立つ活躍ができるよう頑張りたいと思います。

これからの九ヶ月間、よろしく申し上げます。